

令和7年第8回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和7年8月21日（木曜日） 午後1時40分から午後3時57分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	島津芳久（教育長）・山川治美・島村由起男・馬場優子・谷本和歌子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 森田敏夫・教育部参事 志村憲一・教育総務課長 中條智則・学校教育課長 下ノ坊圭・学校教育課副参事 澤田秀一・生涯学習課長 吉野修・生涯学習課副参事 松本尚也・図書館長 須田和克
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主事 石田恵美
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第28号から30号

議題及び決定事項等

議案第28号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について
【原案どおり可決】

議案第29号 令和7年度日高市一般会計補正予算（第4号）（教育委員会所管）
【原案どおり可決】

議案第30号 職員の懲戒処分について
【原案どおり可決】

会議の経過

1）前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2）教育長報告の要旨

○教育委員会部課長会議、校長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3）教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告（図書館）関連】

（委員）利用実績の貸出者数は延べ人数か。また、リピーターは多いのか

(図書館長) 延べ人数である。リピーターが多い状況である。

(委員) リピーターが多いのであれば、その状況も考慮して実績を把握したほうがよい。

(委員) 移動図書館車について、武蔵台小中学校には行くようであるが、他の学校へは行かないのか。

(図書館長) 市役所から一番遠い学校から今年度開始した。武蔵台地区は坂があり、子どもが一人で図書館まで来ることが難しい事情もあることから、武蔵台小中学校を選定した。

(委員) そのような理由であれば、他の学校への運行も検討したほうがよいと思う。

(委員) 運行時間はどのくらいか。駅までのコースはないのか。

(図書館長) 通常 1 時間程度の運行時間を見込んでいる。駅までのコースは未設定であるが、武蔵高萩駅には本を設置する場所があるため、職員により本を設置（「えきとしょ」による利用者から寄贈を受けた文庫本を配置）し、利用できる状態としている。

【教育長報告関連】

(委員) 体育館空調利用料について、どのような料金設定とするのか。多少でも電気代が賄えるような設定とするのか。

(生涯学習課長) 発生する電気代の一部を利用者に負担してもらう予定である。およそ 1 時間あたり 1,500 円程度の料金が発生する見込みである。他自治体で料金徴収している事例も参考に料金設定を進めていく。

(委員) 例えば 1,500 円とするのであれば、その根拠をしっかりと定めなければならない。

(教育部長) 設置した空調設備をフル稼働させた場合の理論値で料金を試算したものである。基本的には発生した費用は利用者に負担していただくこととするが、スポーツの振興という目的もあるため、どのくらいの料金設定にするか議論を重ねていく。

(委員) 住民サービスの向上と経費の削減を目指して指定管理者制度を導入し、費用対効果が発揮されている状況がひっくり返るようなことになっては意味がない。

暖房も使用可能か。

(教育総務課長) 使用可能である。

(教育長) スポーツをする際の暖房の使用については、検討が必要かもしれない。冷房の使用とは少し考え方が異なると思われる。

(委員) 武蔵台小中だけ始業式が 9 月 1 日ということであるが、カリキュラム等に問題はないか。

(学校教育課長) 半日授業も数日含まれているため、大きな問題はないと考えている。

(教育長) カリキュラムとしては、9 月 1 日から 2 学期開始で授業時数は足りることとなっている。その後、学力向上の観点からもう少し授業時数を増やすことが協議され、土曜日授業を行ったり、空調の整備が整ったことで土曜日授業から 2 学期開始を早めたりしてきた。しかし、ここで「働き方改革」として余剰時間を増やしすぎないように、国や県からの指導が届いている。基本的には、必要な授業時数を超過

する時間を夏休み等に割り当てている。

(委員) 学力向上という観点で子ども達のために行う取組であればよいが、大人たちの都合で子ども達を振り回すことがあってはいけない。8月下旬であっても気温が高い日が続く現在の状況を考えると、夏休みを短縮して始業することはリスクを伴うので、反対に9月1日より少し遅らせた方がよいのではないか。

(教育部参事) 長期間の休みを終えた後、早速5時間、6時間の授業を行おうとすると、子ども達に負荷が掛かる。授業の開始日を早めることができれば、4時間授業も挟みながら5時間、6時間の授業体制にゆっくり戻せるといったメリットがあると思う。

(委員) ここで夏休みが終わることとなるが、大きな事故等の報告もなく安心している。2学期が始まると不登校の問題が心配になるが、教育委員会から各学校に対して具体的な対策等の指示や指導を行っているか。

(学校教育課長) 不登校の問題と併せ、盗撮の問題への対策も必要であることから、相談窓口の利用を再度周知するよう臨時校長会議で指示している。子ども達が使用しているタブレットについても、クリックしたら相談窓口の連絡先が表示され子ども達が直接相談できる仕組みも進めている。

(委員) 管理職候補者の選考について、進捗状況はいかがか。

(教育長) 今後、面接等を控えているが、11月下旬の結果発表に向けて着実に進めている。

(委員) 学校体育館の空調設備について、スポーツ少年団(ミニバスケットボール)の利用は可能となるのか、また、有料となるのか。

(生涯学習課長) スポーツ少年団の利用については、費用負担や鍵の貸し出し方法を検討している。利用開始時期については、条例改正や周知期間等を踏まえ、令和8年4月からを予定している。

(教育総務課長) 体育館への空調機器の設置は完了したが、実際の授業等で不具合なく使用できるかを確認するために試運転を行い、最終調整を行っている状況である。それらの作業が完了し、工事の完了検査が合格となり、工事業者から引き渡しを受けることで全ての工事が完了することとなる。その後は使用方法に基づき授業や学校行事等で使用することとなるが、学校以外の団体の使用については検討を進めているところである。

(委員) 図書館ビブリオバトルについて、参加者の選考方法は。

(生涯学習課長) 今まで選考が必要となるような応募数はなかったもので、全ての応募者に参加いただいている。

(委員) 高校生の参加が特定の学校になっているようであるが、予め決まっているのか。

(教育総務課長) 参加者の募集は、市ホームページなどを通じて広く周知しているが、予定人数に達しないことが多い。その場合、読書部がある学校に声をかけて、参加者を募集するような取組を行っている。

(委員) 「ビブリオバトル」などを通じて、読書に関する時間が増えたらよいと感じた。

(教育長) 中学校には募集案内を周知しており、昨年度までは本が好きな中学生が数

名参加したこともあった。

(委員) 先月、高萩小・中学校合同で実施した「避難所運営ゲーム」に参加したが、非常に良いものであった。小学生、中学生、先生、地域の方がグループごとに集まり、実際の避難所の運営方法について話し合う姿は、学校と地域が一体となる素晴らしい取組であると感じたので、是非他の学校でもこのような取組を検討していただきたい。

高麗川中学校のプール跡地について、何も利用されていない現在の状況はいつまで続くのか。

(教育総務課長) 建設課においてプール跡地の一部を利用して交差点を広げ、車両交通の円滑化や通学する子ども達の滞留場所を確保する内容の工事を予定しているが、周辺住民との協議や調整が難航しており、予定が遅れている。現在は周辺住民の土地に影響が及ばない範囲で交差点を広げる方法を検討している。基本的には工事が完了するまでは現状の管理方法となる。

(委員) 何も使用しない状況だと雑草が繁茂してしまうので、適切な管理を行っていただきたい。また、フェンス近くでテニスをしていると、ボールがフェンスを飛び越えて車両等に接触してしまう恐れがあるようなので、工事後のフェンスの高さについても検討していただきたい。

海外留学疑似体験事業 1 DAY ツアーについて、参加した子どもから非常に楽しかったという感想があったので報告させていただく。

(委員) 高麗川中プール跡地に係る交差点改良について、拡幅するのは南北の道路か、東西の道路か。

(教育総務課長) 東西の道路であり、その拡幅部分をプール跡地の敷地を利用する予定である。また、南北の市役所通りについても、プール跡地の敷地を利用して歩道を拡幅し、通学する子ども達の安全性を高める予定である。

(教育部長) 東西の道路に係る交差点がかなり狭いため、その交差点を改良する目的であると聞いている。四つ角であるため、学校の敷地は利用できるものの、その他の民地については地権者との交渉や協議が必要となるため、当初計画の変更が必要となっているようである。

(委員) プール跡地の拡幅予定場所から西に向かい、川越線の踏切までは歩道が整備されているが、踏切より西側の高麗川駅に向かう道路には歩道がない。そのような状況でプール跡地の場所だけ拡幅してもどこまで効果があるのか疑問である。

西部地区人権教育実践報告会について、日高市の取組の趣旨は何か

(教育長) 日高市として取り組んでいる人権教育の事例について、報告したものである。一般向けの人権に関する講演会や、学校で行っている人権教育について報告を行った。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第28号

(委員) 令和6年度の「中1の不登校の割合」が高く、「全国学力・学習状況調査の割合」が低い。また、「不登校率」が高くなり、「いじめ解消率」は低くなっている。前年と比べてネガティブな数値となっているが、その要因はどのように考えるか。

（教育部参事）不登校率は全国的に上がっている。全国平均と比べると日高市の上がり幅は少なくなっている。

（委員）先ほど話した４つの項目は、良くなっていなければならないものが悪くなっている状況である。そのことについて、担当課の見解を次回会議でお答えいただきたい。

海外留学疑似体験事業はとても良いと思うが、英検合格率に繋がっていないように感じる。自由に話したい生徒もいたようなので、テーマとは別のセッションを設けてもよいのでは。個人的には、参加率にこだわらなくてもよいと考えている。

（教育長）やり方の工夫が必要だと考える。もっと自由にしゃべりたい子どももいるので、フリータイムを作ってみる等の工夫を図ってもよいと思う。

（委員）今年度はより臨場感があり、とてもよかった。年々よくなっている。

（委員）英検３級の合格率について、３級に限ったものか３級以上も含まれるのか。
（学校教育課副参事）３級以上である。

（委員）P42の組織についての評価の中で、職員数が５名少なくなったとあるが、その要因は。減少により教員一人あたりの負担が増えているのではないか。

（学校教育課長）学級数の減（高麗川小、高萩北小）と、単年度加配が影響していると考ええる。

（教育長）職員数の５名減について学識経験者から危惧されているが、学級数も減っているので、単純に教員の負担増加に繋がっているとは考えていない。

（委員）ジュニアリーダーの活動は。

（生涯学習課長）現在は活動できていない。今後、かるた大会等を通じて活動再開に向けて取り組んでいきたいと考えている。

（委員）英検の合格率について、子どもが楽しく学べる工夫をしてもらいたい。

（委員）高校入試について考えている子は、出席日数が内申に影響しないことからオンラインでもよいと言っている。出席の必要性が薄れてきたことで、不登校率に影響しているかもしれない。

英検の合格率については、数年前と比較して宿題で実際に書くことが非常に少なくなったと感じている。このことが合格率の問題に関係しているのではないかと感じている。

（教育長）学校側のねらいとしては、強制ではなく自分の興味関心に合わせて努力することを目的としているが、指導が行き届いていない可能性がある。

（学校教育課長）現在、子ども達は「やらされてできるようになる」のではなく、本人の興味関心から「できるようになる」といった教育となっている。「子ども達が学びたいということができる環境になっているか」を求められていると強く感じているが、個人の関心を引き出し、高めることも必要となることから、指導のバランスが難しい。

議案第29号

（委員）国庫補助金の一部不採択について、再度伺いたい。

（教育総務課長）主な国庫補助の内容としては、学校施設の非構造部材耐震化となる

が、これと併せて空調設備の改修や非常通報装置等の安全に係る設備の整備についても補助対象となることから、国庫補助金の申請を行っていた。しかし、空調設備等の内容については不採択となってしまった。これは、埼玉県内の多くの自治体と同じ状況であると県の担当者から報告があった。不採択となった工事の財源については、交付税措置のある地方債を充てる等、一般財源の負担を軽減させる調整を行っている。

議案第30号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○9月定例会：9月18日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

○10月定例会：10月31日（金曜日）午後1時40分から 委員了承